

クラス：	<h1>英語の歴史</h1> <p>ルーツを知れば普段使いの英語の「なぜ？」への答えがわかる。 納得してこれからの英語に向き合える。</p> <h2>ERdU-51/10</h2>
曜日：	金曜日 (10月開講)
時間：	13:30-15:20
レベル：	中級
講師：	Ms.大石美幸
目的：	英語の歴史を知り、現代英語の理解を深め、学習、実践運用に役立てる。
授業紹介：	<p>今や、母語、公用語、外国語、そして国際語として、世界人口の四分の一が用いる英語ですが、あまたある言語の中でなぜ英語がそのスターダム的位置にたどり着いたのでしょうか？</p> <p>一方、そのことによって、日々大変な努力を強いられている方々が多いのも事実です。「英語さえなかったら。。。。」というお悩みもよく耳にします。そうした悩みや努力の大半を占めるのが、文法（名詞は出るけど、動詞がいい加減、ましてや正しい時制で、三単現の-s だけの助動詞だけの過去分詞だのとっさに出すなんて無理、肯定文は作れるけど疑問文はいつも時間切れ、だから会話では常に後手）、綴り通りや習った通りにはいかない発音（だから、リスニングが一番苦手）、同じことを意味するのに途方もなく大きく広がる語彙や表現などがあげられると思います。</p> <p>しかし、こうした学習者泣かせの細かいルールやヴァリエーションにも理由や背景があるのです。</p> <p>英語がどのような変遷をたどり、現代のような姿になったのかをざっくり知ること、昨日まで複雑に見えたルールや現象も、実は単純化されたものであり、よって英語が国際語として世界に広がったということにも合点がいくのではないかと思います。そして何より大切なことは、英語の歴史という豊かなストーリーを背景に、日々向き合う英語学習の一過程一過程が、少しでも苦しみから楽しみに転じる助けとなることを願います。</p> <p>【履修内容予定】 英語の始まり、古英語、ノルマン人の侵入：フランス語の大量輸入、中英語、近代英語、アメリカ英語、多種多様な英語</p>
授業内容：	学習者用教材に従って学びます。音声補助教材の朗読も用いつつ、内容の解説を進めます。巻末の理解度チェック問題も利用し、内容理解とともに英語学習自体も行います。
教材：	<i>The History of the English Language</i> ; Oxford University Press
備考：	テキスト朗読は、音声補助教材を使用